

いのちのとりで裁判（生活保護基準引下げ訴訟）

解決アピールへの賛同メッセージ

生活保護制度は国民の権利、最後のセーフティネットの役割を果たす、まさに“いのちのとりで”です。

物価高騰によって、所得の低い世帯ほど生活に深刻な打撃を受けています。生活細基準の引き上げと増額で、憲法 25 条が明記する「健康で文化的な最低限度の生活」を国民に保障すべきです。これこそ、まさに政治が今すぐに取り組むべき仕事です。

国民が物価高騰に苦しんでいても、消費税減税にかたくなに背を向ける石破自公政権。医療や介護、年金、生活保護を容赦なく切り捨てる一方で、5年間で43兆円以上もの大軍拡に熱中する政治をおおもとから切り替えましょう。

社会保障を拡充し、くらしと命を守る希望ある政治を、みなさんとご一緒につくるために全力を尽くします。

2025年6月12日

日本共産党 衆議院議員 辰巳 孝太郎

いのちのとりにて裁判全国アクションの皆様が、安倍政権が2013年に強行した史上最大の生活保護基準引き下げという暴挙に対し、国・自治体を相手に裁判で奮闘されてこられたことに深く敬意を表します。

れいわ新選組は、誰一人取り残さない社会の実現のため、生活扶助基準の引き下げの白紙撤回、貧困率の改善、生活保護の捕捉率向上、水際作戦の根絶、ケースワーカーの増員と専門性確保、一步手前の困窮層への支援などを求めてきました。

私 やはた愛も、厚生労働委員会において、物価高をふまえ、日本で暮らす全ての人の生活水準の「土台」である生活保護基準を引き上げるべきであると訴えてまいりました。引き続き、生活保護基準引下げ問題の早期全面解決のために尽力いたします！

最後に、ご臨席の皆様方の更なるご活躍並びにご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、私からの激励と連帯のメッセージとさせていただきます。

2025年6月27日

れいわ新選組 衆議院議員
やはた愛

衆議院議員

やはた愛

れいわ新選組。大阪府第13区 東大阪市



メッセージ

「いのちのとりで裁判」に関わるすべての皆様へ

長きにわたり闘いを続けてこられた原告の皆様、そしてその支援に尽力されてきた全国の関係者の皆様に、心からの敬意を表します。

生活保護制度は、命と暮らしの最後のよりどころであり、すべての人に人間としての尊厳を保障する社会の礎です。その基準の引き下げが、いかに多くの方々の不安と困難を生んできたかを、皆様の声と歩みが社会に力強く訴えてこられました。

11年におよぶたたかいの中で、多くの方が判決を迎えることなく旅立たれたことに、深い哀悼の意を捧げます。だからこそ、今回の最高裁判決が、生きて声を上げ続けた方々の思いに応えるものであることを、私も心より願っております。

判決をひとつの契機として、国が生活保護行政のあり方を見直し、すべての人が安心して暮らせる社会の実現へと大きく舵を切ることを、政治の責任として強く求めてまいります。

生活保護は生きていくための「権利」です。私は今後も、皆様とともに、支え合いの社会をつくるために歩んでまいります。

令和七年六月

衆議院議員 黒岩たかひろ



私も生活保護基準引下げ問題の
早期全面解決を求めるアピールに賛同します。

議員氏名[]

*お手数ですが、できるだけ早急にメールまたはFAXにて、お送りくださいますよう、お願いいたします。Google フォームでの入力も可能です。

メール : inotori25@gmail.com いのちのとりで事務局 宛

FAX : 03-5385-2299 きょうされん事務局 宛

Google フォーム : <https://forms.gle/3bp1j23WYFTEpxSm8>



*判決を控えて、原告らに向けてメッセージがありましたらお願いします。

生活保護は 人間としての 尊厳を守る
最後のとりでです。それをさしやる理由も
なく下げるのは 政府の裁量の範囲を
越えています!

一致結束して訴えていきましょう!

衆議院議員 白石洋一

2025/6/22

「いのちのとりで裁判・生活保護基準引き下げ問題早期全面解決」

へのメッセージ

憲法25条で保障された生存権を守るために献身的に奮闘されている「いのちの裁判全国アクション」の皆さんに心からの敬意と感謝を申し上げます。

4月18日に広島高裁は、広島生存権裁判において広島地裁の「生活保護基準引下げ処分を取り消す」との判断を維持し、原告勝訴の判決を言い渡しました。また、これまで言い渡された43判決のうち原告側が27勝と大きく勝ち越しています。提訴から11年、いよいよ最高裁での判決が6月27日に予定されています。

原告は高齢者や障がい者、傷病者が多く、判決前に亡くなられる方が多くおられます。一刻も早い解決が求められています。国は最高裁判決後、速やかに紛争解決に向けた努力を行うべきです。私も早期全面解決に向けて全力を尽くすつもりです。

みなさんの運動と組織がますます発展することを願ってメッセージとします。



2025年6月27日

日本共産党副委員長・参議院議員

やましたよしき
山下芳生

生活保護基準引き下げ問題の早期全面解決を求めるアピールに賛同
します。

「いのちのとりで裁判」の最高裁判決を迎えるにあたり、長くたた
かい続けてこられたみなさんに心から敬意を表し連帯します。

自民党議員が「生活保護を恥と思わないのが問題」などとバッシング
を吹聴し、生活保護を敵視するなか政府の基準引き下げを後押し
してきました。健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障し、
その改善・向上を図るべき政治が、自己責任論を嵐のようにふりまき
基準引下げの圧力をはたらかせる——冷酷な政治は断罪されなけれ
ばなりません。

勝利判決を確信し、判決を踏まえ、失われた生存権の回復のため、
政府は直ちに抜本解決に踏み出すべきです。

目前に迫る参院選で、人間の尊厳を壊す政治に対してNOの審判
を突きつけ、ともに変えようと心から呼びかけます。ともにがんばり
ましょう。

2025年6月25日

日本共産党参議院議員 山添 拓

篠田 奈保子 衆議院議員(立憲民主党)

生存権を確保するため、みなさんと連帯し、国会議員として解決に向けて力を尽くします！

福島 みずほ 参議院議員(社会民主党)

日頃より、生活保護基準引き下げ問題に取り組まれている皆さんに敬意を表します。

物価が高騰し続けている現在、生活保護はいのちと生活を守る最後のセーフティーネットです。健康で文化的な最低限度の生活を保障する憲法25条を持ち出すまでもなく、日々の生活を営む人々の人権を守るために生活保護制度はあります。

またこの裁判は原告の皆さんの切実な問題解決のためだけではなく、将来、生活保護を必要とする人たちの問題でもあります。

防衛費を増大することが国を守ることだという今の政権にNOの声をぶつけましょう。国民の生活を守ることにこそ税金を使えと訴えましょう。日本に暮らす全ての人たちが尊厳をもって暮らしていけるよう、税金の使い道を変えさせましょう。

これからも皆さんと一緒に活動をさせていただくことを申し上げ、生活保護基準引き下げ問題が早期に解決することを願ってのアピールいたします。

芳賀 道也 参議院議員(国民民主党)

いのちのとりで裁判(生活保護基準引き下げ訴訟)に関わる皆様に、連帯のエールをお送り致します。

皆さまご存じのように、生活保護基準は最低賃金や就学援助、国民健康保険料の減免基準、公営住宅の減免基準など、他の多くの制度の基準になっています。

このため、生活保護基準をめぐる皆様の裁判は、生活保護を受ける方々だけでなく、多くの国民の暮らしに直接ひびく、大変重要な裁判です。

憲法 25 条に規定された生存権をめぐる戦いでもあり、生活保護制度に「命を吹き込む」戦いでもあります。皆さんの取り組みに私も連帯いたします。

池田 真紀 衆議院議員(立憲民主党)

生活保護基準引き下げ問題の早期全面解決へ私も共に全力で訴えてまいります。

倉林 明子 参議院議員(日本共産党)

いのちのとりで裁判の原告として、闘い続けてきたみなさまに、心から敬意を表します。

生活保護制度の改悪は、国民の人権にかけられた攻撃です。裁判は、生活保護制度を、国民の生存権を守る”最後の砦”として再生するたたかいです。

27日、最高裁での勝利判決を確信しています。ともにがんばりましょう。

塩川 鉄也 衆議院議員(日本共産党)

皆さまの活動に心より連帯の意を表します

田村 貴昭 衆議院議員(日本共産党)

2013年から行われた生活保護基準の引き下げは違法、違憲なもので救済が必要です。国は一刻も早く過ちを認め救済をする必要があります。

伊藤岳 参議院議員 (日本共産党)

いのちのとりで裁判(生活保護基準引下げ訴訟)

私も生活保護基準引下げ問題の早期全面解決を求めるアピールに賛同します。

原告の皆様の11年にも渡るたたかいに心より敬意を表します。

基準を引き下げた国の誤りは明らかです。

多くの人たちの生存権が脅かされていることは重大です。一刻も早い早期解決が求められます。

憲法が保障する生存権を守る「制度」を実現するために、私もがんばります。

小池 晃 参議院議員(日本共産党)

物価が高騰しているにも関わらず、生活保護費は据え置かれたままです。そのため、食費を切り詰め、必要なものを我慢して生活するなど苦しんでいる人が大勢います。

「保護費の引き下げは合理的根拠ない。裁量権の範囲の逸脱であり乱用」という各地の判決に従い、国は速やかに生活保護費を引き上げるべきです。

「健康で文化的な最低限度の生活」を国民に保障するのが政府の役割です。

「いのちのとりで」である生活保護制度が、憲法の理念を体現する制度となるよう全国で声をあげていきましょう。

ながえ 孝子 参議院議員(無所属)

10年以上の時間をかけて、ようやく最高裁判所の正しい判決が下されることを信じています

田村 智子 衆議院議員(日本共産党)

「生活保護基準引下げ問題の早期全面解決を求めるアピール」に全面的に賛同します。

5月に原告が最高裁で行った弁論で「保護費が減らされ孫に会うお金もない」「風呂は週1回、1日1食しか食べられない」などギリギリの生活を強いられている実態が陳述をされました。「いのとりで裁判」提訴から11年、原告の2割に相当する232人が亡くなり、もはや一刻の猶予もありません。7高裁での原告勝利判決に続き、明日の最高裁判決で国の違法性を認めさせ、早期全面解決を実現させましょう。

自公政権が強行した生活保護基準削減の誤りは明白です。私も国会で厳しく追及してきました。裁判闘争とともに政治を変える闘いが必要です。7月の参院選で政治を変え、保護基準を物価高騰に見合った水準に引き上げ、保護申請の門前払い、扶養照会、自動車保有など運用を改めさせ、必要なすべての人が利用できる制度にしましょう。

私も皆さんとともに全力でがんばります。

伊波 洋一 参議院議員(沖縄の風)

生活保護基準の不当な引き下げをめぐり、11年もの歳月をたたかってこられた「いのちのとりで裁判」原告のみなさんに心から敬意を表します。

本来、公正中立であるべき統計当局が、「物価偽装」などの統計不正に手を染めていたことを明るみに出すなど、みなさんのたたかいは、この国がいかによがめられたかを大きく告発するものとなりました。

最高裁では、憲法 25 条が保障する生存権に立ったまっとうな判決が示されることを期待しています。

国会においても、みなさんのとりくみを制度改正につなげてまいります。ともにがんばりましょう。

高木 真理 参議院議員(立憲民主党)

ともに頑張りましょう！

阿部 知子 衆議院議員(立憲民主党)

生活保護基準の引き下げは、生存権に否定につながります。

皆さんの身をかけた闘いが、多くの人々の「生きる」を支える源になっています。

しっかりとした最高裁判決を勝ちとりましょう。

吉良 よし子 参議院議員(日本共産党)

本日の最高裁での画期的判決に心からお祝い申し上げます。本
当におめでとうございます。

みなさんの諦めずにあげ続けた声と運動が司法を目覚めさせたと
感じます。

本日の判決の確信を更に広げ、今後は謝罪や被害回復に繋げ、い
のちと尊厳を守る政治を実現するため、ご一緒に頑張りたいと思
います。